

一般競争入札仕様書等に関する回答書

令和 8 年 4 月 9 日
福島県原子力防災課長

公 告 日	令和 8 年 4 月 3 日
件 名	令和 8 年度原子力災害時の避難手段等に係るアンケート調査業務
質 問 事 項	
1	<p>仕様書 2 (2) 調査件数</p> <p>・回収率の想定は 30%程度とのことですが、その内訳として、WEB 回答と紙回答の割合の想定はありますでしょうか。</p>
2	<p>仕様書 2 (5) 作業内容</p> <p>・対象者情報の取扱いについて、宛名ラベルの使用を前提とした記載となっておりますが、名簿情報との突合が可能であり、かつ照合封入時の誤封入リスクの低減に資する手法(封筒への直接印字や窓あき封筒の活用等)であれば、貴県と協議のうえ、ラベルを用いない方法で調査を実施することは可能でしょうか。</p>
3	<p>仕様書 2 (5) 作業内容</p> <p>・未回答者への回答の催促について、封入物は 1 回目の調査票発送時と同様に、調査票 (A 4 両面 1 ページ) および調査依頼文 (A 4 判・両面印刷・1 色刷り) を同封する想定でよろしいでしょうか。なお、調査依頼文については、回答催促通知として、1 回目発送時とは異なる内容となる想定でよろしいでしょうか。</p>
4	<p>仕様書 4 業務スケジュール</p> <p>・成果品納期は令和 9 年 3 月 3 1 日とされていますが、工期中に速報値等の中間報告の提出などは想定されていますでしょうか。</p>
5	<p>仕様書 2 (5) 作業内容</p> <p>・未回答者への催促は、1200 件程度とのことですが、7000 件に発送し、回収率想定 30%の場合、4900 件が未回答となります。未回答者全員ではなく、その中の一部の 1200 件程度に送付ということによろしいでしょうか。</p>
回 答 事 項	
1	<p>回収率の想定において、WEB 回答と紙回答の割合は設定していません。</p>
2	<p>名簿情報との突合が可能であることに加え、照合封入時の誤封入リスクの低減に資する手法(封筒への直接印字や窓あき封筒の活用等)であれば、宛名ラベルを用いない手法で調査を実施することは可能です。</p>
3	<p>未回答者への回答の催促を行う際の封入物は、調査票 (A 4 両面 1 ページ) 及び調査依頼文 (A 4 判・両面印刷・1 色刷り) を想定しております。</p> <p>なお、その際の調査依頼文については、1 回目発送時とは異なる内容となる可能</p>

	性があります。
4	履行期限である令和9年3月31日を待たず、受注者と協議のうえ、報告期限を設定し、速報値等の中間報告を求める可能性があります。
5	未回答者への催促は、未回答者全員に対しては行わず、未回答者の中から抽出した1200件程度を対象に実施します。